

関東ブロック戦略会議における観光施策のテーマについて

2024.03.04 関東ブロック戦略会議

【背景】

- 関東ブロックにおける外国人延べ宿泊者数の割合は、2012年に全国の46%であったが、2019年は36%となっており、関東ブロックの割合が相対的に低下している。
- 第4次観光立国推進基本計画においては「持続可能な観光」「消費額拡大」と合わせて「地方誘客」がキーワードに掲げられているが、全国の外国人延べ宿泊者数における関東ブロック全体の割合を拡大するためには、当ブロックにおいても地方誘客が重要である。
- この「関東ブロック地方誘客」を促進するためには、各地域が個別に誘客するだけでなく、地域間のさらなる連携によって、より魅力的な周遊観光に繋げていくことが必要である。
- このような中、2027年に横浜市で開催され、関東ブロックが世界の脚光を浴びる機会となる「GREEN×EXPO 2027」(2027年国際園芸博覧会)を観光の起爆剤として活用することが効果的であると考えられる。

当面の施策テーマ（案）

地域間・「GREEN×EXPO 2027」連携による広域観光の促進

【進め方】

- 関東ブロック全体で「GREEN×EXPO 2027」の機運を醸成し集客の増加を図るとともに、地域間のさらなる連携による成果（周遊ルートなど）を来場者に向けて披露すること等によって、相乗効果を目指す。
- 連携促進のための協議・検討については、関東ブロック戦略会議の「観光資源魅力向上WG」の場を活用する。
- その際には、繋がりや賑わいを想起させる街道を活用した「江戸街道プロジェクト」の取組も推進する。